

## 会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成24年度第2回定例会会議記録
開催日時	平成24年5月23日（水曜日） 18時30分から20時00分まで
開催場所	田無公民館 第二学習室
出席者	委員：大島眞之、千葉佳子、畠山昭裕、須磨田純子、馬場真由美、西原みどり、加藤真理、渡辺文子、福島憲子、中曽根聡 職員：相原館長、大平主幹、川口館長補佐、小笠原分館長、石川分館長、長谷部分館長、平井分館長
欠席者	委員：新藤浩伸、萩原建次郎、野澤校長、上田校長
議題	1.平成24年度第1回定例会の記録について 2.報告事項 (1) 行政報告 (2) 公民館だより編集室報告 (3) 都公連委員会部会運営委員会報告 (4) 第50回 東京都公民館研究大会報告 3.事業計画書・報告書について 4.協議事項 5.事務連絡及び情報交換 (1) 防災の件について（災害時対応マニュアル） (2) 利用者懇談会の充実について
会議資料の名称	(1) 平成24年度西東京市公民館運営審議会第2回定例会の開催について（通知） (2) 平成24年度第1回定例会会議録 1～5ページ (3) 平成24年度公民館主催事業計画書 12件（6～18ページ） 1.キッズアカデミー 縄文体験編（柳沢） 2.ムービールーム柳沢（柳沢） 3.フードコーディネーターによる料理&食材レッスン（田無） 4.チェス講習会（芝久保） 5.農業を知る講座（谷戸） 6.エコで簡単！手作りドレッシング（谷戸） 7.イギリス・フランス音楽をピアノとお話して 「ラブリー・クラシック・コンサート」（谷戸） 8.谷っ戸子やってみ隊「キツネ君人形を作って遊ぼう」（田無） 9.西東京市の予算と決算を理解する講座（駅前） 10.盲導犬についてのお話と歩行訓練体験（駅前） 11.保谷駅前公民館サークル発表会 第4回ジョイントコンサート（駅前） 12.身近な材料を使って手すき和紙を作ろう（駅前）  (4) 平成23年度公民館主催事業報告書 7件（19～25ページ） 1.くるみ学級（知的障がい者学級）（柳沢） 2.ムービールーム柳沢（柳沢） 3.外国人のための日本語講座 保育あり（柳沢） 4.あめんぼ青年教室（障がい者青年学級）（田無） 5.谷戸まつり公民館主催事業1.まつりでコンサート2.フラダンスサークル（谷戸） 6.地方財政分析の学校 合併10年を検証する（駅前） 7.親子いろいろ体験講座（駅前） (5) 公民館だより編集室報告（別紙）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録

傍聴者	□有り 無し
会議内容	
<p>議事</p> <p>1.平成24年度第1回定例会の記録について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議録の1ページを差し替え。他は了承。</li> </ul> <p>2.報告事項</p> <p>(1) 行政報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の新規異動について（野澤ひばりが丘中学校長）（上田泉小学校長）</li> </ul> <p>任期は、24年4月26日から25年4月30日</p> <p>(2) 公民館だより編集室報告（以下『・』は委員発言、『→』は職員回答）</p> <p>詳細は添付の報告書のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて編集会議に参加した。全員がもっともっと良い記事に、市民に読まれる記事にするため、励んでいる姿勢に感服した。</li> <li>・記事の特集のふれあい喫茶について、この場所では注文しないと、このスペースは利用できないのか。</li> </ul> <p>営業中は、他の利用者には使用を控えていただいている。</p> <p>(3) 都公連委員部会運営委員会報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月24日午後2時から役員会を、小金井市西分庁舎で開催予定。今後の定例会は5月31日、6月21日、7月26日。研修会は、3回予定。第1回の研修会は7月15日を、萩原建次郎先生を講師として交渉中。</li> </ul> <p>(4) 第50回東京都公民館研究大会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年の全体会のテーマは「公民館は地域の絆」。</li> </ul> <p>西東京市公民館の分科会の担当テーマの締切は、24日まで。本日中に決定したい。</p> <p>今年は、午前中が全体会を実施。分科会は午後の3時間となる。</p> <p>狛江市が、公民館入門編を担当。福生市は、主催講座からの地域づくりを内容とした分科会を担当。西東京市公民館は、全体会のテーマを受けて、「地域、絆、公民館の役割」に繋がる実践例として、公民館まつりでの復興支援活動から被災地の方々の交流、それら活動を通じて改めて自分たちの住む地域の絆への気づき、ふりかえりなど発表したいと思う。具体的には、芝久保公民館まつり実行委員会での被災地福島県新地町への支援活動の報告を中心に、谷戸まつりの報告もまじえ企画。助言者は、月刊社会教育編集長の谷口郁子氏を予定。</p> <p>→了承</p> <p>なお、次回までに委員の皆さんの中からも1人分科会の運営者を選出していただきたい。</p> <p>→了解</p> <p>3.事業計画書・報告書について（『・』は委員質疑・意見、『→』は職員回答）</p> <p>(1) 事業計画書について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の意見</li> <li>・改善点、課題点が的確に盛り込まれていて良い。</li> <li>・公民館の貴重な実践を次世代に繋ぐ資料として、今回の講座改善に繋がる詳細な報告書の意味でも、個々の講座の記録誌を作成は大切な公民館活動のひとつと考える。保育付講座の記録誌、他の記録誌も作成されているようだが、今後は組織として系統的に検討してほしい。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な材料を使って手すき和紙を作ろう</li> <li>・時間内に作品を完成して鑑賞までできるタイムスケジュールにできるのか。</li> </ul> <p>昨年も同様に実施している。</p>	

- ・盲導犬についてのお話と歩行訓練体験
    - ・障害者の害は、ひらがなではないか。PR時には、訂正してほしい。  
了解。
  - ・西東京市の予算と決算を理解する講座
    - ・市民としては楽しみな講座である。
    - ・計画書の新規事業は、チャレンジ精神が感じられて良い。
  - ・チェス講座
    - ・実施日の曜日を記入してほしい。  
次回から気をつけたい。
    - ・20人（10組）で、一人の参加は可能か  
一人参加も可能。チェスの板が10台であるため、参加者を20人とした。
    - ・事業区分は、成人期となっているが、どうしてか。  
予算支出の区分から、名称をつけている。
  - ・ムービールーム柳沢
    - ・事業目的は学習・自己実現ではなく、交流ではないのか。  
映画鑑賞を通じ、テーマを考え、学ぶ目的と考えている。
    - ・ふらっと来館した人のためにも、映画の予定表をポスター掲示してはどうか。  
了解
  - ・農業を知る講座
    - ・この講座は何年ほど継続しているのか。  
平成5年から小松光一先生を招いている。
    - ・講座の卒業生の交流はどのように行われているのか。ネットワークやつながりを支える工夫はあるのか。  
→講座卒業生は市民農園や講師主催の楽農塾などに参加して、活動を続けている方もいる。
    - ・平均の参加率は  
→出席率が高い。また、女性の参加も多い。
  - ・エコで簡単！手作りドレッシング
    - ・実習はないのか。  
→実習も含まれる。
    - ・周知期間が短いようだが、まにあうのか。  
→講師は、公民館を利用しているサークルの講師であり、機敏な対応が可能。
    - ・今後は、夜間も実施してほしい。
    - ・各公民館の得意分野があることは理解できるが、他の公民館でも市民の要望が高いものは、どんどんチャレンジしてほしい。他の公民館との共有化、ネットワーク化も取り組んでほしい。
  - ・フードコーディネーターによる料理&食材レッスン
    - ・ねらいの2番を説明してほしい。「人としての営み」はどういう意味か。  
→社会性を身につけるの意味がある。食が生理的、本能的な動作ではなく、食を通して他人との関係性や共同性などを身につける重要な営みであること。
- (2) 事業報告書について
- ・くるみ学級（知的障がい者学級）、
  - ・あめんぼ青年教室（障がい者青年学級）

・評価について一言。受講者の家族にとっては、息抜きの場であり、貴重な時間でもあるようだ。これらの講座は、家族のよりどころになっている。他の公民館でも全館でこの学級を設置して、取り組んでほしい。

・知的障がい者は、約1000人弱市内にいる。（手帳保持者）  
柳沢公民館のふれあい喫茶は、市民の評価が高い。

・地方財政分析の学校 合併10年を検証する

・参加者の裾野を広げるため、ネーミングの工夫があつてよい。他の公民館もぜひ取り組んでほしい。

・なぜ、6館あるのか。その存在意義を確認したい。その公民館の独自性や大切にしてきたテーマもある。この点は、こだわってほしい。

・6館の公民館の存在は、一方地域の中で歩いていける距離に存在することでもある。身近な場所で、様々な学習ができることが良い。6館共通のテーマでの学習もあつても良いのでは。

#### 4. 協議事項

特になし

#### 5. 事務連絡及び情報交換

・次回に、チラシ掲示の指標を分館長会議、6館職員会議を経て、この会議で話し合つていただく予定である。

・西東京市立学校災害時対応マニュアルを参考に配布。今後の公民館の対応マニュアルの参考にもなると思われる。

・公民館職員もぜひ作成の検討をお願いしたい。

・利用者懇談会の充実をお願いしたい。

→芝久保公民館では、10月の懇談会終了後、片野講師をお呼びして、公民館の役割の講演会を合わせて開催したい。

→田無公民館も同様に、10月の懇談会終了後新藤浩伸先生に依頼し、講演会を予定。

・谷戸まつりの報告（4月21日・22日開催）

委員：

今年も復興支援バザーを開催。その収益金や当日行った募金、おまつりの収益金は、合計15万円。寄付先は南相馬市原町生涯学習センターに決定。子ども対象の夏の事業に活用いただくことになること。

・第53回関東甲信越静公民館研究大会について

開催地 長野県松本市

9月28日（金曜日）にマイクロバスで日帰り研修となる。

次回の日程について

第3回定例会 6月27日（水曜日） 18時30分 於：田無公民館 第二学習室